

# 「黒船祭」で保命酒関連商品を販売

## ペリーの子孫に献上が縁

### 中島基晴氏「福山を海外にもアピール」

鞆の浦名産「保命酒」など  
備後の特産品で地域おこしを  
展開している食品卸・小売り  
業者、(株)中島商店(福山市御  
船町1-13-5、中島良昭社長  
電084・922・487  
0、<http://nakataku.com>)

の中島基晴専務(39)は、5  
月18日(金)―20日(日)に  
静岡県下田市で開かれる「68  
回黒船祭」に招待され、会場  
に設けられるブースで保命酒  
や保命酒銘菓、福山の特産品  
を使った9種類のキャンディ  
「オリブの寶石箱」を販売  
するほか、「下田・備後友好  
親善味噌(みそ)」と称し、  
静岡県名産のワサビと、鞆の  
保命酒、府中の味噌をブレ

ンドした「保命  
味噌」も会場  
で新発売す  
る。

2007.5.10 1230号  
経済リポート

今回、招待  
されたのは、  
中島専務が保  
命酒醸造・(株)  
岡本亀太郎本  
店(同市鞆町



05年、ペリーの子孫に保命酒を“献上”  
する中島さん(中)と岡本さん(左)

鞆927-1、岡本憲良社長、  
電同982・2126)の岡  
本良知専務と共に05年の「黒  
船祭」が開かれた下田市を訪  
れ、了仙寺主催の「ペリー提督  
応接料理の再現」の場でペリ  
ー提督の子孫に保命酒を「献  
上」したことが切っ掛け。幕  
末にペリー提督が開国を迫る  
ため、浦賀(横須賀市)に  
「黒船」で来航した際、幕府  
主催の晩餐(ばんさん)会に、  
福山藩主で幕府老中筆頭の阿  
部正弘公が保命酒を献上した  
ことにちなんだ企画で、大き  
な話題を呼んだ。

現在、岡本亀太郎本店が醸

造した「十六味地黄 ミツボ  
シ保命酒」は、通称「ペリー  
ボトル」として下田市の酒類  
販売店「土藤商店」で販売さ  
れ、中島商店が企画した「保  
命玉(ほめたま)(アメ)が  
了仙寺宝物殿のギフトシヨッ  
プで「ペリーラベル版」の  
「保命玉」として人気を集め  
ている。

中島専務は04年から保命酒  
や保命酒粕(かす)を原料に  
した商品開発に取り組み、地  
元の製造業者と協力し合っ  
て銘菓や調味料など保命酒の持  
つ可能性に挑戦し続け、「保  
命酒商品を名刺代わりに福山  
を県内外及び海外へアピール  
したい」と、次々に新商品を  
発表した。

商品開発は、組合や固定し  
た組織を作らず、中島専務が  
コーディネーターとなり、企  
画・立案し、生産者と加工業  
者が必要な時に、必要な数だ  
け集めて臨機応変に組み合わ  
せる「ジャスト・オン・ディ  
マンド」システムを採用。そ  
れぞれの得意分野を生かし、  
責任と役割を分担しているの  
が特色。

中島専務は「このシステム  
を採用した結果、地元だけで  
なく県内外でも保命酒関連の  
商品が広がりを見せることが  
できた。さらに地元へ貢献で

きるように活動の輪を広げた  
い」と強い意欲を語った。